

平成 27 年度 決算 に 係 る
定 期 監 査 調 書

平成 28 年 6 月

東 部 教 育 局

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	2 頁
4	職員の定員、現員調べ	3 頁
5	役付職員の調べ	3 頁
6	主な事業に関する調べ	4 頁
7	収入証紙取扱額調べ	9 頁
8	収入事務処理状況調べ	9 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	10 頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	10 頁
11	不納欠損額調べ	10 頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	10 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	11 頁
14	財産に関する調べ	11 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	12 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	12 頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	12 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	12 頁
19	寄附物件の受納状況調べ	12 頁
20	備品の処分状況調べ	12 頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	12 頁
22	小中学校等への支援の状況調べ	13 頁
○	意見、要望等	14 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

監査意見	対応等
<p>教職員の多忙感解消の取組みについて</p> <p>県教育委員会においては、教職員の多忙感解消を目指し、平成25年度に「教職員いきいき！プロジェクトチーム」を設置、平成26年度にはモデル校（1高校）において業務改善に取り組み、その成果について県立学校や市町村教育委員会との情報共有や事例集の作成を行い、普及を図っている。</p> <p>さらに、モデル校で得られたノウハウをもとに、平成27年度は県立学校で「学校カイゼン推進校」を指定した重点的かつ計画的な取組みを行っているほか、市町村教育委員会と連携、協力した「市町村立学校に係る業務改善アクションプラン」を策定して、学校現場と教育委員会が共通認識を持ちながら、課題に対する具体的な取組みを進めることとしている。</p> <p>このように県教育委員会では、教職員の多忙感解消を図るための取組みを進めているところであるが、これらの取組みは、この問題を抱えるそれぞれの学校現場の実情を踏まえた上で早期にかつ着実に実施されることが必要と考える。</p> <p>については、県教育委員会においては、県立学校はもとより、市町村立学校についても各教育局と市町村教育委員会との連携を深め、モデル事業による取組みの成果がそれぞれの学校現場に着実に浸透するよう努めるとともに、学校現場での取組みの効果についても検証されたい。</p>	<p>平成25年度の「教職員いきいき！プロジェクトチーム」の設置以降、「市町村立学校対策ワーキンググループ」の一員として、中・西部教育局とも連携・情報共有しながら、教職員の多忙解消に向けて取り組んでいるところ。</p> <p>学校業務支援システムの導入など具体的な取組を検討している市町教育委員会もあるが、市町村立学校に向けては、高等学校課が平成27年5月に作成した「学校カイゼン活動の手引き」を示し、校長会等を通じて県立学校の取組を紹介するとともに、校内での業務改善の意識づくりを促した。</p> <p>また、学校カイゼン活動について、学校、市町教育委員会、県教育委員会が連携して取り組む「市町村立学校に係る業務改善アクションプラン」を平成28年2月に示したところ。今後、内容の周知を図るとともに、具体的な取組が実施されるよう市町教育委員会と連携して、学校を支援していくこととしている。</p> <p>さらに、平成27年11月から地域・保護者・学校連携方策検討WGに参加し、「保護者・学校・地域のよりよい関係づくり」のためのリーフレット作成に取り組んでいるところ。できるだけ早い時期にリーフレットを作成・配布し、教職員への周知を図っていきたい。</p>

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係 (担 当) 名	課 の 主 な 所 掌 事 務
教育委員会事務局 東部教育局	学事担当	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公印の保管に関する事 ・ 職員の身分及び服務に関する事 ・ 市町教育委員会の組織及び運営に関する指導、助言及び情報提供に関する事 ・ 市町立学校の教職員の人事に関する事 ・ 教育の調査及び統計に関する事 ・ 公立学校共済組合に関する事
	学校教育担当	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町立学校の学校運営、教育課程、学習指導及び生徒指導に関する事 ・ 市町立学校の教科用図書及び教材の取扱いに関する事 ・ 市町立の小学校及び中学校の児童及び生徒の就学義務の免除及び猶予に関する事 ・ 教育の調査及び統計に関する事 ・ 学校保健及び学校給食に関する事 ・ 学校体育に関する事 ・ 教育関係団体との連絡及び必要な指導及び助言に関する事
	社会教育担当	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育に関する事 ・ 生涯学習及び社会体育に関する事 ・ 教育関係団体との連絡及び必要な指導及び助言に関する事

4 職員の定員、現員調べ

(平成28年4月1日現在)

種 別 区 分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当 該 年 度	27.4.1 現 在	当 該 年 度	27.4.1 現 在	当 該 年 度	27.4.1 現 在	当 該 年 度	27.4.1 現 在	
定 員	13	13	1	1	0	0	14	14	
現 員	() 13	() 13	() 1	() 1	() 0	() 0	() 14	() 14	
過不足(△)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨 時 職 員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	1	1	0	0	0	0	1	1	

5 役付職員の調べ

(平成28年4月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
局 長	森本 直子	年 0	月 0	
次 長	網川 昭夫	4	0	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概	要
<p>教育局運営費 (学校教育)</p> <p>決算額 5,913千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 5,913千円</p> <p>○将来ビジョン VI育む (2)「人財・鳥 取」の推進</p> <p>○政策項目 IV人財とっとり 2少人数学級の 拡充など学力 向上プログラ ム</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>県内東部地区を管轄し、5の市町教育委員会、80の市町立小中学校、74の幼稚園・保育所に対し、学校・園経営の充実や教員・保育士の資質向上、指導力・授業力の向上等を図るため、指導助言等による支援を行う。また、各市町教育委員会・各学校や園の自主・自立をめざす。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>【東部地区幼稚園・保育所、公立学校との連携強化】</p> <p>○全小中学校への学校訪問(年2回)や要請訪問等により、学校経営や学習指導の重点事項の周知、学校の取組状況の把握と指導助言、保育所・幼稚園の訪問による指導助言や情報提供を行った。</p> <p>○LD等専門員による巡回訪問(年3回)、要請訪問を実施した。</p> <p>○各市町郡校長会(毎月1回)、各市町教頭研修会(市:2回、八頭:1回)に出席して、学校課題等への対応について、指導助言等を行った。</p> <p>【情報発信】</p> <p>○2か月に1回、東部教育局が発行する情報誌「東部通信」で学校の参考となる学校教育の取組事例等を積極的に紹介することにより学校を支援した。また、毎月の校長会では資料を配布し、新しい情報提供を行った。</p> <p>○各学校で取り組まれている授業研究会等の情報を集約し、「研究会案内」として各学校へ発信した。</p> <p>○特別支援学級の担任の悩みに応える適切な指導や必要な支援を充実するために、元気の出る「特別支援教育主任のための手引」及び「元気いっぱい 園・学校づくりのポイント集」をHPに掲載した。</p> <p>【教職員への研修と啓発】</p> <p>○東部地区を対象とした幼稚園教員・保育士の合同研修会の開催(5回)、要請訪問での「鳥取県幼児教育振興プログラム(改訂版)」「鳥取県幼保小連携カリキュラム」「元気いっぱい 園・学校づくりポイント集」(東部教育局刊)を活用した指導助言、学校の教育課題に対応したワークショップの開催等を行った。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○ワークショップ(年15回:特別支援教育相談会を含む)</p> <p>・テーマ:授業改善(評価規準)・研究推進・特別支援教育・仲間づくり、保護者連携 等</p> <p>・時期:年度初め、長期休業中、年度末</p> </div> <p>【市町教育委員会との連携】</p> <p>○課題共有のための市町教育委員会訪問及び東部地区指導主事等連絡協議会を開催し、「学ぶ意欲を高める学校教育の推進」、「新たな不登校児童生徒を生まない具体的方策」等について協議、情報交換を行った。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・市町教育委員会訪問(年2回)</p> <p>・東部地区指導主事等連絡協議会(年3回)</p> <p>・その他の情報共有、意見交換会(随時)</p> <p>外国語に関する研修の今後の方向性について</p> </div> <p>○東部地区の市町教育長と年2回「東部地区市町教育長会」を実施して、人事・教育課題(土曜授業、コミュニティスクール、いじめ防止対策推進法等)について情報交換し、今後の取組の情報共有を図った。</p>	

事業名	概要	要												
	<p>イ 平成27年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none">○県及び各市町の保育担当課と連携を図りながら、計画訪問、要請訪問等を57園（74園中）で実施し、保育・教育の質の向上に努めた。○前期の小中学校の学校訪問において、管理職と研究推進の方向性を確認するとともに「とっとりの授業改革【10の視点】」を活用した授業改善を促すとともに、後期は、前期の実態から、特に重点校へ訪問するなど継続的に指導・支援を行った。○月例問題行動調査等から、各学校の課題を分析し、市町教育委員会と随時連絡を取り合いながら、学校の取組を支援した。○新規スクールカウンセラーの配置校を早期に訪問し、指導助言を行った。○スクールカウンセラー研修会において、中堅スクールカウンセラーから有効な実践を発表してもらい、各スクールカウンセラーの具体的活動の幅を広げた。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none">○幼保小の円滑な推進については、園訪問・学校訪問による働きかけや合同研修会、東部通信等での取組事例の紹介等により、連携に対する理解が深まった。○「とっとりの授業改革【10の視点】」を授業改善の取組を活用して、意識して取り組んだ学校が増加した。<ul style="list-style-type: none">■小学校において、取組校が増加した項目は2項目あり、そのうち、「思考の整理」は14校から19校に増加した。■中学校において、取組校が増加した項目は5項目あり、中でも、「学び合う活動の充実」に取り組んでいる学校が18校あった。○中学校区を中心とした校種間連携による取組の重要性が各学校で認識され、生徒指導・授業改善・特別支援教育・幼児教育において、学校や園での連携は進み、取組の成果が徐々にではあるが感じられる。 <p>【学校教育実施状況調査（抜粋）】</p> <table><tr><th>項 目</th><th>H26 (A)</th><th>H27 (B)</th><th>(B) - (A)</th></tr><tr><td>中学校区で全教職員が部会に分かれて会議を実施</td><td>74%</td><td>81%</td><td>7%</td></tr><tr><td>スタートカリキュム作成率</td><td>82%</td><td>94%</td><td>8%</td></tr></table> <ul style="list-style-type: none">○スクールカウンセラーの活用について、小学校担当者の連絡協議会への参加や小学校への働きかけを進めたことにより、小学校での活用が定着し、不登校の早期対応が組織的に行われた。○各市町教育委員会と連携して、園・学校への指導・支援を行い、学ぶ意欲の向上、言語活動の充実・学習評価の推進、不登校問題など共通の重点課題解決が図られてきている。○小中兼務教員の配置により、9年間を見通した取組が行われ、不登校の未然防止や早期対応が中学校区で組織的に行われた。	項 目	H26 (A)	H27 (B)	(B) - (A)	中学校区で全教職員が部会に分かれて会議を実施	74%	81%	7%	スタートカリキュム作成率	82%	94%	8%	
項 目	H26 (A)	H27 (B)	(B) - (A)											
中学校区で全教職員が部会に分かれて会議を実施	74%	81%	7%											
スタートカリキュム作成率	82%	94%	8%											

事業名	概 要												
	<p>工 課 題</p> <ul style="list-style-type: none">○平成27年度に作成した「取組事例集」、「園内研修用DVD」等を活用し、保育・教育の質の向上に向けた取組をさらに充実していく必要がある。○「とっとりの授業改革【10の視点】」を授業改善として取り組んだ学校は増加し、学習評価に取り組む学校も増加傾向であるが、さらに推進を図っていく必要がある。○小学校における不登校児童割合が増加傾向にある。また、中学校においては、減少しているが、全体的に見るとまだ高いといえる。不登校問題の解決に向けて、特別支援の共通の取組や幼保小中の具体的連携を工夫するなどさらに進める必要がある。 <p>【不登校児童・生徒の出現率（平成28年3月末現在）】</p> <table><tr><th>項 目</th><th>H26 (A)</th><th>H27 (B)</th><th>(B) - (A)</th></tr><tr><td>小学校</td><td>0.5%</td><td>0.54%</td><td>0.04%</td></tr><tr><td>中学校</td><td>3.51%</td><td>3.43%</td><td>△0.08%</td></tr></table> <ul style="list-style-type: none">○特別に支援を要する児童生徒は年々増加しており、特別支援教育に関わる教員の資質をさらに高め、個に応じた指導等、児童生徒への支援の充実を図っていく必要がある。	項 目	H26 (A)	H27 (B)	(B) - (A)	小学校	0.5%	0.54%	0.04%	中学校	3.51%	3.43%	△0.08%
項 目	H26 (A)	H27 (B)	(B) - (A)										
小学校	0.5%	0.54%	0.04%										
中学校	3.51%	3.43%	△0.08%										

事業名	概要
教育局運営費 (社会教育) 決算額 5,913千円 (財源内訳) 一般財源 5,913千円 ○将来ビジョン VI育む (2)「人財・鳥 取」の推進	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 社会全体(学校・地域社会・企業・行政等)で取り組む教育の推進及び教育の原点である家庭教育の充実を図るため、各市町教育委員会や関係団体(PTA協議会等)との連携を図るとともに支援を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>【市町教育委員会との連携】 県社会教育協議会主催の東部地区社会教育関係者研修会を市町の社会教育担当者と連携しながら開催した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>開催日 平成27年6月24日(水) 13:30~16:45</p> <p>会場 鳥取県 東部庁舎 講堂</p> <p>内容 実践発表1 「安心・安全なやさしい地域づくりを目指して」 発表者 鳥取市末恒地区公民館 実践発表2 「地域子ども教室から土曜授業等実施支援事業へ」 発表者 智頭地区公民館 智頭町教育委員会 実践発表3 「地域で支えるわかさっ子の学習支援教室」 発表者 若桜町教育委員会 ワークショップ 「青少年教育、特に若者世代を事業に取り込む仕掛けを考える」 進行 岩美町教育委員会 参加者数 53名</p> </div> <p>【県PTA協議会への支援】 県PTA協議会が主催するPTA指導者研修(東部地区)の運営に係る支援をした。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>開催日 平成27年6月13日(土) 9:30~12:00</p> <p>会場 国府町中央公民館</p> <p>内容 全体会 主催者あいさつ、施策説明 分科会 PTA活動活性化分科会他3分科会</p> </div> <p>【教職員等への支援(学校支援)】 学校と保護者の連携の機会である保護者会を効果的に運営するため、コーディネーター(学校支援ボランティア事業)の活動を充実させるためのワークショップを開催した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>日時等 平成27年4月13日(月) 15:30~17:00 県民ふれあい会館 内容 「参加型保護者会を体験しよう」 参加者10名</p> <p>日時等 平成27年4月14日(火) 16:00~17:30 県民ふれあい会館 内容 「参加型保護者会を体験しよう」 参加者9名</p> <p>日時等 平成27年8月3日(月) 9:30~12:00 鳥取県東部庁舎 内容 「すぐに使えるアイズブレイク・レクリエーションを学ぼう」 参加者23名</p> <p>日時等 平成27年8月4日(火) 9:30~12:00 鳥取県東部庁舎 内容 「学校支援ボランティア・コーディネーター研修会」 参加者13名</p> </div>

事業名	概要																														
	<p>イ 平成27年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校での保護者会をより良いものにし、学校と保護者の連携をより強化するため、ワークショップを年度当初に複数回開催した。 ○アイスブレイク・レクリエーションのワークショップにおいて、すぐに使えるような手軽な準備で効果的な手法を数多く紹介した。 ○地域で学校を支える「学校支援ボランティア事業」をより推進するため、コーディネーター同士のネットワークが構築できるように、情報交換の時間を充実するなど、研修内容を工夫した。 <p>ウ 成果</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th><th>はい</th><th>どちらでもない</th><th>いいえ</th><th>未回答</th><th>計</th></tr> <tr> <td>実践発表は良かったか</td><td>28</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>30</td></tr> <tr> <td></td><td>94%</td><td>6%</td><td>0%</td><td>0%</td><td>100</td></tr> <tr> <td>演習は良かったか</td><td>26</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>30</td></tr> <tr> <td></td><td>88%</td><td>3%</td><td>3%</td><td>6%</td><td>100</td></tr> </table> <p>【東部地区社会教育関係者研修会アンケート（回答者30名）】</p> <p>アンケートの記述の中に、「取組内容が大変わかりやすい発表だった」「自分の地域でも応用できることがあったので大変参考になった」「積極的な地域での取組の様子が感じられ、参考事例が数多く見られた」等、参加者に参考となったことが感じられる感想が多くあり、開催の成果が見られた。</p> <p>【ワークショップアンケート】 評価 3.7（4段階）</p> <p>アンケートの記述の中に、「適切なテーマを与えることで、保護者同士で学び合い、満足のいく保護者会になることを実感した」「仲間づくりができる活動で、準備も少なく手軽に取り組める内容でよかった」「学校支援ボランティアでこれから新たに取り組めそうなのがたくさん見つかったなど、前向きな意見が多くあり、開催の成果が見られた。</p> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どものより良い生活習慣や学習習慣のためには、保護者が子どもとの日々の関わりや自身を振り返り、保護者同士が情報交換を図ることが重要であり、そのためにも、PTA協議会と連携した参加型学習会を継続していく必要がある。 ○学校と保護者の連携をより強化するため、開催時期や研修内容を工夫して開催したが、考えたような効果が得られなかった。校長会等の情報発信の機会を有効に活用するなど、より多くの方に周知してもらえよう、周知方法を検討する必要がある。 	区分	はい	どちらでもない	いいえ	未回答	計	実践発表は良かったか	28	2	0	0	30		94%	6%	0%	0%	100	演習は良かったか	26	1	1	2	30		88%	3%	3%	6%	100
区分	はい	どちらでもない	いいえ	未回答	計																										
実践発表は良かったか	28	2	0	0	30																										
	94%	6%	0%	0%	100																										
演習は良かったか	26	1	1	2	30																										
	88%	3%	3%	6%	100																										

7 収入証紙取扱額調べ
該当なし

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金
該当なし

(2) 使用料
該当なし

(3) 手数料
該当なし

(4) 財産収入
該当なし

(5) 諸収入

(平成28年3月31日現在)

(単位：円)

収入科		目	件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
目	節	細節							
雑入	雑入	非常勤講師雇用 保険料	904	676,598	676,598	0	0		
	目計		904	676,598	676,598	0	0		
	合計		904	676,598	676,598	0	0		

(6) 現金の取扱状況
該当なし

9 収入未済額調べ
該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ
該当なし

11 不納欠損額調べ
該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ
(1) 負担金
該当なし

(2) 補助金
該当なし

(3) 交付金
該当なし

(4) 委託料
該当なし

13 工事請負費調べ

該当なし

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地 該当なし

イ 建物

(平成28年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名 又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理 由	登記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政財産	東部教育局	鳥取市扇町	251.03	不明	増加	H				H	251.03	不明	
					減少	H				H			
合 計			251.03								251.03		

ウ 山林 該当なし

エ 動産 該当なし

オ 物権 該当なし

カ 無体財産権 該当なし

キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成28年3月31日現在)

種 別	前年度末	本年度中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び郵便はがき	円 8,654	円 8,200	円 5,128	円 11,726	
収入印紙	—	—	—	—	
収入証紙	—	—	—	—	
タクシークーポン券	—	—	—	—	
鉄道バスプリペイドカード	—	—	—	—	
合 計	8,654	8,200	5,128	11,726	

イ タクシーチケットの受払状況

該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

該当なし

16 借受不動産明細調べ

該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

該当なし

18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ

該当なし

19 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

20 備品の処分状況調べ

該当なし

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

該当なし

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個 数
27年11月13日	・有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		

22 小中学校等への支援の状況調べ

(平成28年3月31日現在)
(単位：回)

月別	保育園			小学校			中学校			特別支援学校			高等学校			合計		
	相談	計画	訪問要請	相談	計画	訪問要請	相談	計画	訪問要請	相談	計画	訪問要請	相談	計画	訪問要請	相談	計画	訪問要請
4月		2			3	8	1	2	2							1	7	10
5月		3		4	29	10	1	15	3							5	47	13
6月		4		10	90	36		30	5				1			11	124	41
7月		3	5	4	23	34	1	18	7							5	44	46
8月			2			16	1		1							1		19
9月		3	4	3	7	21		4	2							3	14	27
10月		6	9	1	27	40	1	20	1							2	53	50
11月		5	2	4	47	24		37	6	1	1					4	90	33
12月		4	1	5	31	18	4	24	5							9	59	24
1月			1	1	3	16	1	7	5				1			2	11	22
2月		2		1	3	11	1	1	6							2	6	17
3月				10		6	1		4							11		10
計		32	24	43	263	240	12	158	47	1	1	1	1	1		56	455	312

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし